

学校間交流の事前指導における障害理解学習の効果(1)

5年生における授業実践を通して

○細谷一博

田名部沙織

(北海道教育大学教育学部)

(北海道教育大学学校教育研究科)

KEY WORDS: 学校間交流 小学生 障害理解学習

1.目的

障害理解教育の実施においては、系統的・継続的な学習の実施が必要とされている。さらに西舘・阿久津・鼎(2015)は、継続的な学習に加えて、内容に系統性を持たせることが重要であり、系統的・継続的に取り組むためには、各学年の授業内容を考えていく必要があることを指摘している。

そこで、本研究では小学校と特別支援学校間で行われる学校間交流の事前学習において障害理解学習を実施し、小学校5年生を対象とした障害理解学習の効果について検討することを目的とする。

2.方法

1)対象児

小学校5年生に在籍する児童67名(男子33名,女子34名)を対象とした。本授業の実施に先立ち、当該校に研究内容について説明し、同意を得た。

2)手続き

本授業は当該校の各教室で実施し、実際の交流活動は体育館で実施した。本授業の内容をTable1に示す。授業の前に障害理解に関するアンケート(Pre)を実施し、5回の障害理解授業を行った。その後、授業開始前と同様の障害理解に関するアンケート(Post)を実施した。なお、本研究ではPre-Postともに、回答に不備があったもの、どちらかで欠席した回答を除き、62名(男子32名,女子30名)の結果を分析対象とした。

3)アンケートの構成

本研究で用いた障害理解アンケートは、障害理解の5段階

Table1 障害理解学習の内容

授業名	
第1回	「障がい」って何だろう？
第2回	友だちを理解するって？
第3回	一緒に活動するってどんな友だち？(FaceTime)
第4回	交流学習
第5回	一緒に活動してどうだった？

階(徳田, 2005)で設定された項目(小林ら, 2016)を参考に設定した。具体的な質問項目は、①あなたのまわりに障害のある人はいますか、②障害のある人は困っていることがあると思いますか、③障害のある人で困っている人がいたら助けてあげますか、④障害のある人が困っていたら、あなたが助けてあげることがたくさんありますか、⑤障害のある人のことについて勉強してみたいですかの5項目である。回答はすべて5件法で尋ねられた。

3.結果と考察

障害理解学習の前後で得られたデータを性別及びアンケート時期による2×2の分散分析を行った(Table2)。分析の結果、気づきの段階に該当する項目、情緒的理解の段階に該当する項目、態度形成の段階に該当する項目の3項目において、 $p<.01$ で有意差が認められ、知識化の段階に該当する項目では $p<.05$ の有意差が認められた。しかし、性別や交互作用における差はみられなかった。これらの結果から、本研究で実施した5年生を対象に実施した障害理解学習は、気づき、知識化、情緒的理解、態度形成においては、効果が見られたが、受容的行動の段階においては、効果が見られなかった。系統的な障害理解学習の実施が求められていることから、5年生の発達段階を考慮した上で、障害理解学習の内容については次年度以降の検討課題である。

文献

- 小林智志・梁真規・今枝史雄・楠敬太・金森裕治(2016)私立小学校における系統的な障害理解教育プログラムの作成に関する研究(第Ⅲ報)—知的障害理解を目的とした授業実践を通して—。大阪教育大学紀要第Ⅳ部門, 65(1), 47-59.
- 西舘有沙・阿久津理・鼎裕憲(2015)総合的な学習の時間における視覚障害理解教育モデルの作成4:視覚障害者の援助について考える取り組みを通して。富山大学人間発達科学研究実践総合センター紀要 教育実践研究, 10, 21-26.
- 徳田克己(2005)障害理解とバリアフリー。徳田克己・水野智美編著。障害理解—心のバリアフリーの理論と実践—。誠信書房。pp2-10.

(HOSOYA Kazuhiro, TANABU Saori)

Table2 小学生の障害理解学習の効果

	N	M		F		主効果:性別 F値	主効果:時期 F値	交互作用 F値
		Pre	Post	Pre	Post			
気づきの段階	32							
	M	2.53	3.13	2.60	3.23	0.10 n.s.	12.41**	0.01 n.s.
	SD	1.19	1.29	1.35	1.33		Pre<Post	
知識化の段階	32							
	M	4.41	4.56	4.10	4.57	1.04 n.s.	5.17*	1.28 n.s.
	SD	0.71	0.72	0.96	0.77		Pre<Post	
情緒的理解の段階	32							
	M	3.34	3.59	3.57	3.97	2.07 n.s.	8.32**	0.44 n.s.
	SD	1.00	1.01	0.97	0.67		Pre<Post	
態度形成の段階	32							
	M	2.81	3.28	3.00	3.60	1.09 n.s.	12.17**	0.18 n.s.
	SD	1.31	1.11	1.02	1.04		Pre<Post	
受容的行動の段階	32							
	M	3.78	3.84	4.03	4.30	2.74 n.s.	2.53 n.s.	0.97 n.s.
	SD	0.91	0.99	0.93	0.92			

*: P<0.05 **: P<0.01